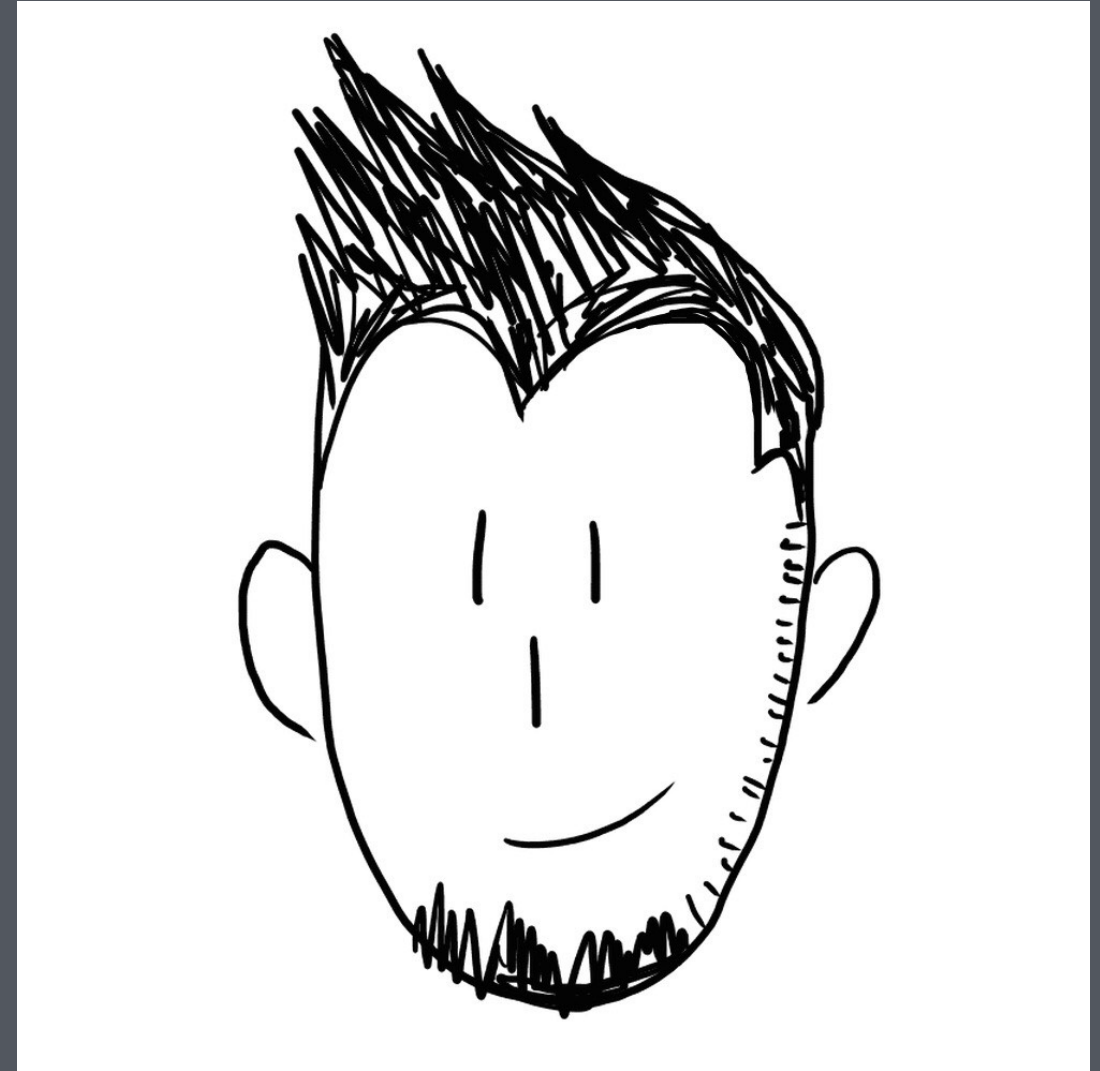


DIコンテナを使わないDI

golang.tokyo#11 2017/12/11

自己紹介

- Name: 森國 泰平 (Morikuni Taihei)
- GitHub: [@morikuni](#)
- Twitter: [@inukirom](#)
- 所属
 - 株式会社メルカリ/ソウゾウ
 - メルカリ カウル



本日の内容

✕ DIできるようにコードを書く方法

○ DIコンテナを使わずに依存関係を解決する方法

どうやって依存関係を解決する？

- mainに書く
- DIコンテナを使う
- DI用の関数を定義する

例題

以下の3つの関数を使ってServiceのインスタンスを作れ。

```
func NewService(repo Repository, mailer Mailer) Service { ... }
```

```
func NewRepository(db *sql.DB) Repository { ... }
```

```
func NewMailer() Mailer { ... }
```

ServiceはRepositoryとMailerに依存している。

Repositoryは*sql.DBに依存している。

mainに書く

```
func main() {  
    db, err := sql.Open("db", "dsn")  
    if err != nil { ... }  
    repo := NewRepository(db)  
    mailer := NewMailer()  
    service := NewService(repo, mailer)  
}
```

オブジェクトが増える度にmainが肥大化していき可読性が低い

DIコンテナを使う (goldi^{*1})

- yamlに依存関係を記述する
- DIコンテナ用のコードを生成する
- DIコンテナから必要なインスタンスを取得する

DIコンテナの使い方を覚える必要がある

^{*1} 実際にgoldiを使ったことはないので間違っている可能性があります

```
types:
  db:
    package: database/sql
    type: *DB
    factory: Open
    arguments:
      - "db"
      - "dsn"
  repository:
    package: github.com/morikuni/hoge
    type: Repository
    factory: NewRepository
    arguments:
      - "@adb"
  mailer:
    package: github.com/morikuni/hoge
    type: Mailer
    factory: NewMailer
  service:
    package: github.com/morikuni/hoge
    type: Service
    factory: NewService
    arguments:
      - "@arepository"
      - "@mailer"
```


DI用の関数を定義する(Inject関数)

- オブジェクトが引数0個で取得できるようにする関数
- あるオブジェクトについて、依存先が引数0個で取得できればそのオブジェクトも引数0個で取得できる
- Inject関数を組み合わせることでInject関数を作る

Inject関数の実装

InjectDBは*sql.DBが引数0個で取得できるようにする

```
func InjectDB() *sql.DB {  
    db, err := sql.Open("db", "dsn")  
    if err != nil {  
        panic(err)  
    }  
    return db  
}
```

Inject関数の実装

*sql.DBが引数0個で取得できるのでRepositoryも引数0個で取得できる

```
func InjectRepository() Repository {  
    return NewRepository(  
        InjectDB(),  
    )  
}
```

```
func InjectMailer() Mailer {  
    return NewMailer()  
}
```

Inject関数の実装

RepositoryとMailerが引数0個で取得できるので、Serviceも引数0個で取得できるようになる

```
func InjectService() Service {  
    return NewService(  
        InjectRepository(),  
        InjectMailer(),  
    )  
}
```

Inject関数を使う利点

- 依存先が増減したとしても影響範囲はInject関数内に収まる
- 実装が書かれるpackageが変わっても影響範囲はInject関数内に収まる
- Goのコードで書けるので構文を新しく覚える必要がない

詳しくはWebで！

明日(12/12)のQiita Advent Calender Go4に

もう少し詳しい記事を書きます！

<https://qiita.com/advent-calendar/2017/go4>